

# 迎春



「信頼される議会」に  
向けて

平泉町議会議長 佐々木雄一



協働のまちづくりに  
向けて

平泉町長 青木 幸保

新年にあたり、ごあいさつを申し上げます。皆さまには、新たな希望を胸に新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日ごろより町政に對しましてご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年目を迎えます。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。くしくも震災の年、平泉が世界文化遺産に登録されましたので、5周年という節目の年にあたります。当町といたしましては、昨年の合併60周年も合わせ数多くの記念行事を開催する予定です。また県内にあつては第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催があり、一層にぎやかな年になることでしょう。皆さまと心をひとつにしてそれぞれの行事に臨んでまいります。

過日、町内の中学・高校生の皆さまと話し合う機会があり、町に對する思いや将来への希望を聞かせていただきました。町が抱えている課題をしっかりと見据えつつ、これからのまちづくりに積極的に参加したいという皆さまの熱意に深く感じ入った次第です。将来を担う子どもたちの無限のエネルギーと頼もしさを実感するとともに、この町をより良い姿で未来に引き継ぐという責務の重さを強く感じ、決意を新たにさせていただきました。世界遺産を

新年あけましておめでとうございませう。議会に對し日ごろより、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は当町においては大きな災害もなく、過ごすことができました。全国的には、鬼怒川で長時間の降雨により、堤防が決壊し大災害になりました。堤防のある当地と重ね合わせますと、災害時の連絡体制と早期避難の重要性は明白です。常に、危機感を持って対応したいものです。

国政においては、多くの学者より憲法違反との指摘にも関わらず、安全保障関連法案が強行採決されました。憲法を尊重し擁護する義務は、権力側である国会議員や首相にあります。それに反する行為は、立憲君主制の現憲法下での行動としては、議会制民主主義に禍根を残す出来事でした。

さらに、環太平洋経済連携協定(TPP)の合意は、自給率39%、農業従事者の減少と高齢化の中、農地整備補助と農産物の輸出で、本当に深謀遠慮があるのでしょうか。

これらに共通するのは、強行でした。道理の通った、合点のいく議論を望みたいと思うのは、私だけでしょうか。

平泉町議会基本条例が昨年制定されました。「信頼される議会」「開かれた議会」とするため、地域懇談会、インターネット中継・配信や一問一答方式など取り組んできたものと、新規に制定しました通年議会、議会モニターなどの

生かしたまちづくり、産業振興、人口減少・少子化対策、雇用の確保など、一朝一夕では解決しない問題も多々ございますけれど、その克服に向けて粘り強く着実に取り組んでまいります。

その一方で、今できることは先送りせず、すぐに取り組むことも大切です。地域懇談会などで寄せられました町政に對するご意見ご要望あるいは地域の課題をしっかりと把握し、スピーディーに解消していく、そのためさまざまな場において皆さまとの対話を深め、より良い地域づくりにつなげてまいります。

現在策定作業を進めております「総合計画後期計画」においては、さらなる住民サービスの向上を目指した行政機構改革、安心安全なまちづくりの要となる自主防災連携組織の確立を軸に皆さまからいただきましたご意見を集約し反映してまいります。いずれにしましても協働の精神を尊重し、オール平泉の体制で未来に向けたまちづくりのビジョンを描いてまいります。

また、農業振興、観光振興などを強力に推進するため、対外的なトップセールスも積極的に展開してまいります。歴史と文化の香りのみならず、豊かな自然に包まれた人情味あふれる私たちの暮らしの姿もまた当町の魅力です。住んで良し訪れて良しの平泉をアピールし、町の活性化につなげてまいります。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

内容となっております。

地方分権以来、自治体は自己決定と自己責任に基づいた、運営を委ねられてきました。基本条例は、議員のあるべき姿、役割を明文化し、住民と共に歩む「開かれた議会」を目指すことを目的に制定したものです。

平泉町議会議員選挙が、3月29日告示、4月3日投票で行われます。議会選挙が無競争や定数に満たないことは、自治体として機能しなくなる可能性が高くなるということです。立候補する環境は、大変厳しいですが、多くの皆さまの勇気と決断を期待します。

本年は、「世界遺産登録5周年記念」「町制60周年記念」「世界遺産サミット」「世界遺産学習全国サミット」「岩手国体」など多くのイベントがあり、全国から多くの皆さまの来町が予想されます。「おもてなし」の気持ちで迎えたいものです。

新春にあたり、町民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。

生かしたまちづくり、産業振興、人口減少・少子化対策、雇用の確保など、一朝一夕では解決しない問題も多々ございますけれど、その克服に向けて粘り強く着実に取り組んでまいります。

その一方で、今できることは先送りせず、すぐに取り組むことも大切です。地域懇談会などで寄せられました町政に對するご意見ご要望あるいは地域の課題をしっかりと把握し、スピーディーに解消していく、そのためさまざまな場において皆さまとの対話を深め、より良い地域づくりにつなげてまいります。

現在策定作業を進めております「総合計画後期計画」においては、さらなる住民サービスの向上を目指した行政機構改革、安心安全なまちづくりの要となる自主防災連携組織の確立を軸に皆さまからいただきましたご意見を集約し反映してまいります。いずれにしましても協働の精神を尊重し、オール平泉の体制で未来に向けたまちづくりのビジョンを描いてまいります。

また、農業振興、観光振興などを強力に推進するため、対外的なトップセールスも積極的に展開してまいります。歴史と文化の香りのみならず、豊かな自然に包まれた人情味あふれる私たちの暮らしの姿もまた当町の魅力です。住んで良し訪れて良しの平泉をアピールし、町の活性化につなげてまいります。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。